

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第51号 3月10日
発行 住友化学㈱アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
発行責任者 古津 昇

目次

農家さん訪問記 (36)	p. 1
食の安全性について考える(10)	p. 7
住友化学アグログループ紹介 住化農業資材㈱	p. 8
野菜の病虫害防除・お役立ち情報①	p. 9
今月の肥料紹介	p. 10
今月のお奨め農薬	p. 13
農薬あれこれ?なぜなに?コーナー	p. 14
今月のご相談から	p. 15
農薬登録情報	p. 16
アンケート当選者発表	p. 17
病虫害発生情報	p. 18
最近の「お・・・美味しい!」	p. 19
コラム・そば談義	p. 20
編集後記	p. 20



イタヤカエデ (カエデ科) カケス (カラス科)
富樫 信樹 画

農家さん訪問記(36)

将来楽しみな農業分野の青年実業家!

取材の前夜に小松空港に到着したが、飛行場の上を15分ほど旋回して着陸しなければならないほど雪が激しく舞っていた。しかし、翌日は快晴で白い雪を頂いた黒部・立山連峰が青い空に朝日を浴びて眩しく輝いていた。(訪問日:2月17日)

はじめに!



伊藤仁嗣さん

今回、インタビューに応じて頂いた伊藤仁嗣さん(29歳)のお宅に行く途中に、砺波農林振興センター(普及所)に立ち寄り、富山県のチューリップの歴史を教えてくださいました。この地域では、冬期間積雪のため仕事がなく生活が苦しい農家が多く、それを何とか改善しようと水野豊造(ぶんぞう)さん(大正7年)らが稲刈り後の水田にチューリップの球根を植えることを考案した。春になればこの地方は気温も上がり日照時間も長く、肥沃な土地ときれいな水で品質がいい球根が収穫できたことで、需要が高まり瞬く間に県

下一円チューリップの栽培が普及した。また、チューリップの大敵であるウイルス病がこの地方では発生しないことも産地形成に役立った。1ドルが360円の時代は米国にも輸出して大いに潤ったが、最近外国（オランダなど）との価格競争で採算性が悪化し、生産者の数が469名（昭和63年）から139名（平成18年）と大きく減少してしまった。

農業に取り組もうと思った理由！

伊藤仁嗣（29歳）さんは、青年実業家らしく非常に忙しくて、翌週にオランダまで行くので1時間しか面談出来ないと連絡をうける。そこで、あらかじめメールで主な質問事項について回答を頂いたうえでのインタビューになった。

大学3年のとき1年間休学して、現状を見つめるため実家で農業をやってみた。そこで周りの農家は高齢者ばかりだということに再認識し、そのことに将来の魅力を感じたそうだ。

大学の同級生は農業というバックグラウンドがないため、これからの農業が面白いと言う友達はいなかったそうだ。ここで暮らしてきたからこそ、農業は面白いと思うことが出来たとのこと。もし、僕も農家の出でなかったなら友達と同様に、農業を継ごうとは思わなかっただろうとのこと。

ところで、都会から来た人は、自然が好きで農業に魅力を感じるというが、僕は子供の頃から家で米をつくって、秋になるとチューリップを植え、春に花が咲いている風景に慣れ親しんできた。当たり前だが、農家は人に喜ばれたいと思って、チューリップを栽培しているわけでない。趣味と仕事の区別があるのは、どの職業でも同じである。

会社組織にするための戦略と社会保険制度導入！

今の日本の農産物の価格を支えているのは、65歳以上（約60%）の中老年農家である。この人たちは、赤字にさえならなければ農業を続けていくだろうが、このような生産者が非常に多いということに都会の人たちは気づいていない。新潟県でもチューリップの切花栽培農家（60～70歳代）が100名ほどいるが、今年は花の値段が極端に安かったためにおそらく半数ぐらいの人が栽培をやめていくと考えられる。

僕は近いうちに若い人を雇って給料を払っていく。周りの生産者は家族中心で、給料はありえないぐらい安い金額を渡してやっているところが多い。そんなことをしていると、今はいいが長続きは決してしないだろう。当面の課題は、世代交代をスムーズに行うことである。現在は株式会社だが中身は家族経営である。それを3年のうちに、新しい従業員を雇うことで年齢構成を若くしていきたい。そして、真の株式会社にしたい。

プロフィール

1998年 富山県立高岡南高校卒業
 1998年 東京都立大学 経済学部入学
 2000～2001年 大学を1年間休学し富山の实家で働く。(インターンみたいなもの)
 2003年 東京都立大卒業 3,4年時の研究室は経営組織論を専攻
 2003年 実家に就職
 2003年秋 オランダのチューリップ球根輸出会社ハークマン社に就職(研修する)。
 2006年春(平成18年春) オランダより帰国。実家で本格的に働き始める。
 2008年9月 伊藤徳仁の個人事業より法人成りを果たし株式会社センティアを立ち上げ代表取締役になる。
 代表取締役 伊藤仁嗣 29歳、取締役 伊藤徳仁 62歳(父)、従業員 母と姉、パート 常時3名(平均55歳)

両親には給料をそんなに多く出していないが、それなりに出しているつもりだ。また、その両親に会社として社会保険を掛け始めた。理由は、毎月保険を掛けておかないと、若い人を雇ったときに急に負担が増えると思ったからだ。また、今から少しでも福利厚生面を準備しておきたいと考えたからだ。個人事業でやっているときは、このような社会保険制度に支払うお金がどれぐらいか分からなかった。でも、いざ支払うとなると結構大きな金額であることに改めて気付いた。社会保険、健康保険、雇用保険を掛けている個人事業はまず無いと思う。このような制度は、気が付いたときにさっさと始めて、さっき言ったようなチャンスが訪れたときに、会社としてすぐに参入できるよ

う準備しておきたい。僕の周りも規模拡大に対する野心を持っている人が何人かいる。その人たちと将来競うようになったときに福利厚生面がしっかりした会社にしておけば自然と人が集まってくることになる。現在、経営面で大きなマイナスは無いので、今から準備しておきたいと思っている。

コスト計算は常に心掛けたい！

フルタイムの従業員は、両親と姉と僕（平均年齢45歳）の4人である。両親は近い将来引退（両親には小遣い程度に働いてもらうが？）して頂き、若い人を雇いたい。それは、出来るだけ早くやらないとダメだと思っている。そのためには規模を拡大し、売り上げを伸ばしていかなければならない。切花栽培を導入したことで売り上げが伸び（業績推移表）、それを設備費などに回し規模を大きくしてきた。しかし、もっと大きく成長するには人を雇わないとダメと言うことに気付いた。2年前までは人件費を出来るだけ抑え、それを設備投資に回すことしか考えなかった。その時、もう少し深く僕が読んでいたら大きく経営内容が変わっていただろう。ここまでは、短期間でトントンと事業が大きくなっていった。

株式会社センティア

1 会社概要

商号 : 株式会社センティア（日本語訳 センティア：匂い）
 本籍 : 富山県砺波市高波1664-2
 設立日 : 平成20年9月9日（伊藤農園より法人成り）
 資本金 : 700万円
 代表者 : 伊藤 仁嗣
 年商 : 約7000万円
 （平成20年度伊藤農園分とセンティア9~12月の合算）
 経営内容 : 水稻 14ha、チューリップ球根 5ha、
 チューリップ切花 48万球（植込球数）
 従業員数 : 8人（うちパート5人）
 主要取引先 : JAとなみ野農業協同組合、富山県花卉球根農業協同組合
 花き地方卸売市場5か所

2 業績推移

	17年度	18年度	19年度	20年度
	(単位:千円)			
売上総計	46,717	47,779	58,747	72,000
米	22,896	22,633	15,522	20,349
球根	7,871	7,856	17,633	20,997
切花	9,485	11,217	17,255	22,018
作業受託	3,023	3,134	1,931	1,900
その他	3,442	2,939	6,406	6,736
切花推移				
	17年度	18年度	19年度	20年度
植込球数	170,000	250,000	410,000	480,000
栽培面積 (m ²)	1023	1023	825	594
生産球数/m ²	166	244	497	808
採花率(秀品)	75%	80%	84%	92%
出荷本数	127,500	200,000	344,400	441,600

しかし、今後も同じように伸びるかといえば、そうではなく少し停滞するだろう。そして、また伸びるというような段階的な成長を遂げるようになると思う。

大学を一年間休学したときに農業をやろうという気になった。しかし、今のような考えや意識は全くなかった。農業を事業化することで色々分かるようになった。そして、深く考えられるようになった。ところで僕には3つの野心がある。一つは「規模に対する野心」、二つ目は「金持ちになる野心」、三つ目は「人に影響を与える野心」である。常にそのことを頭の中で描いている。また、僕の場合はオランダ



植付け日による草丈の違い

で2年間働いた経験が非常に大きな力になっている。オランダで働いていた会社もキチンと組織されていて、福利厚生もしっかりしていた。また、人の回転も速く、新人が入ったかと思うとすぐに辞めていくのだが、会社組織がしっかりしていて、研修がキッチリ出



ボックス栽培

来るようになっていた。そのため、新人でも仕事が直ぐに出来るようになる。日本の場合は家族で「あ・うん」の呼吸でやっているために、新人が入ってきても研修するシステムがなく、一人前になるのに長時間掛かる。例えば、母親には何も言わなくても察してくれているが、新しい人には一から教えなければならない。オランダも家族経営であるが、40~50年前から会社として研修システムがあり、また、*ロジスティックスに管理されている。例えば、一人削減した方がスムーズな組織になると決断すると、

具体的な数字を見せて従業員に説明して納得

をしてもらう。日本では、そこまでやっている生産者がいるのだろうか。僕の耳には聞こえてこない。だから多分やっている人はいないのだろう。これからの日本の農家も数字的なものを出して銀行員を説得させるだけのものを持たないとダメだと思う。日本は、まだまだその点がゆるいと思う。

*ロジスティックス：企業で、原材料の調達から生産・在庫・販売に至る物的流通の管理活動。

チューリップの栽培と作業について

田植えや稲の収穫時の忙しいときは僕も手伝うが、水管理は父親一人に任せている。球根と切花は両親と姉、パート3名、同じ農家の若者1名(研修生)で作業している。

球根の収穫は近所の女性7名に手伝ってもらっている。一番大変なときは、10～11月の球根栽培用と切花栽培用の植え付けが重なる時期である。品種の選定と作業で労力的にも心理的にも気を使うからである。6～7月も球根の掘り取りで忙しいが、この時期は体力的にキツイだけで精神的には楽である。うちの強みは一年中作業に切れ目がないことと、現金収入も毎月ほぼコンスタントに入金があることだ。（栽培スケジュールと収入表参照）



きれいにラップされたチューリップ

毎日、切花の出荷が可能なのは、チューリップの球根を大型冷蔵庫で凍らせば生長が止まるからである。それを毎日決まった球数だけボックス（オランダでの呼称：9℃冷蔵ボックス栽培）に植えていくことが出来る。それをハウスで生育させて蕾になったものをほぼ毎日切花として出荷する。先日（2月中旬）のように気温が急激に上がっても、ボックス栽培の分だけの被害で済む。もし、土に植えていたら全ての花が咲くことになる。ただ、大量の注文のときは対応が出来ないが、それは計画的栽培をしているので、そこまでカバーしようとは考えていない。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
水稲				田植							収穫	
球根			摘花		収穫・掘り取り		選別			植付		
切花										植付		出荷
収入	切花収入				米前金		球根前金				米・球根・切花収入	

ところで、球根用と切花用の品種は異なる。球根で好まれる品種は大きくて子供（分球）が多く出来る品種だが、それらが切花用に適しているかといえばそうではない。現在、耕地の4.3ヘクタールに140万球を栽培している。その内の115万球を球根として出荷している。残りの25万球を切花用に使用している。

切花は50万球を栽培しているが、前述の自家栽培用25万球と、オランダからの輸入した25万球を使用している。オランダから輸入する理由として、直径11cmの揃ったものを輸入したほうが、コストの面と気持ちの面で余裕が出来るためである。また、市場の好みを予想し、傾向を探るにはオランダ産のものも栽培した方がよいと考えている。

☆球根の大きさ：13cm・12cm・11cm・10cm、10cm以下は規格外。

10cmのものでも花は大きくならない。全体の出荷量の半分は10cm。

将来の展望とわが町の魅力！

現在、名古屋、東京、大阪市場に出荷しているが、将来の夢は環太平洋地域のソウル（人口1000万人）、ウラジオストック（600万人）、大連（550万人）に高岡港から輸

出ることである。中国や韓国では、チューリップを栽培していない。日本では花を描けといえはチューリップを描く幼児が多いが、中国や韓国ではチューリップはマイナーな花なのである。よって、需要を喚起すればビジネスチャンスが自ずと生まれてくる。今後、国内需要はそんなに伸びない中、環太平洋地域はこれから期待が持てると考えている。

外国と商売をしようと思うようになったのは、オランダに行ったことが大きく影響している。オランダは世界を相手に花の商売をやっている。オランダの人口は1000万人である。そのため輸出に頼らざるを得なく、オランダにいたときは、アメリカ、日本、イスラエルなど世界を相手に電話で商談をしていた。僕も世界を相手に商売していくのが夢だが、それをしないと国内だけでは将来行き詰るかも知れない。それと共に、規模の拡大は今後の重要課題である。目標としては10年後には水稲100ha、球根10ha、切花500万本を達成したい。その時の従業員は常時フルタイムで10人、パートで10人ほどいて、売上は約3億円が目標である。



雪の残る水田の向こうに立山連峰

大学時代に暮らした東京と比べることしか僕は出来ないが、富山県の良いところに本当は気づいていないかもしれない。空気が美味しいとか、いろいろな人とコミュニケーションがとれるなど。獅子舞の時期になると地域の色々な人（公務員、学校の先生、フリーターなど）と会話をしている。しかし、東京では同じような環境の人としか話をしないように思う。こちらでは、本当に景気が悪くなったことが近所の人のお話からも分かる。また、色々な見方を学ぶことが出来る。そんなことを含

めて、地元で働いていることは僕にとっていいことだと思っている。オランダでは、日曜日になると地域の人々が教会に行ってコミュニケーションを図っている。近所の人とおしゃべりし、一般常識的な関心ごとに根ざしている。よって、その人達から滅茶苦茶飛躍した話は出てこない。また、金持ちもそんなにいないように思うが、もし金を持っている人でもそんなところで羽振りがいい話しをしたら近所の人から敬遠される。東京は金持ちだけでコミュニケーションを図るところがあり、世間とはかけ離れたことを考えて実行することで世間を騒がすことがあるが、近所でコミュニケーションをとっていればまずそういうことはないと思う。

【あしがき】

非常に若い行動力抜群の青年実業家という印象を受ける。そして、これからの日本の農業はこういう人たちが牽引していくのだろうと直感的に感じた。

また、ご家族やパートの方は、社長としての息子さんに全幅の信頼を置いてキビキビ働いておられたのが印象的だった。ぜひ、10年後にもう一度お会いして、その後の発展ぶりをぜひ拝見したいと強く思った。帰りにいただいたチューリップの切花は、色合いがきれいで可愛いらしいものが多く最近の傾向を少し垣間見ることが出来た。（古津）

[JAとなみ野北部支店様にはご紹介およびご案内頂きお礼申し上げます。](#)

[目次へ戻る](#)

食の安全性について考える(10)

食品安全行政について(その1)



イラスト：加藤

近年、人々の健康志向が強まるなか、わが国の食品安全行政について取り上げてみたい。

わが国の「食品の安全対策」は、主に食品衛生法（厚生労働省）と農薬取締法（農林水産省と環境省）によって規制されている。その中味は食品添加物や農薬の販売・使用上による法規制や残留基準、水産動植物に対する使用基準などである。

日本の食品安全政策の基本的な構図（下表）は、3つの段階および領域に分けられる。

第一は、「農林水産物の生産段階」を対象にしたもので、農薬の販売と使用の規則（農薬取締法）、人畜共通伝染病の予防（家畜伝染病予防法）などの施策が行われている。

第二は、「食品製造・流通段階」に係る施策で、食品や添加物の規格・基準の設定や検疫所による輸入食品の監視指導（いずれも食品衛生法）の施策などがあり、と畜・食鳥検査（と畜場法・食鳥処理法）もこの領域に含まれる。

第三は、食料・食品の消費段階で特に重要な「食品の表示」に係る施策であり、表示基準の設定と監視指導（食品衛生法、JAS法など）がこれに該当する。

食品安全政策は複数の省庁で規則と監視が行われているが、新たな危害を含めて、食品のリスクが多様化し国際的に広がるの中で食品事故が増えてきた。2001年9月に起きたBSE問題の発生を契機に、食品安全政策が抜本的に見直され**食品安全基本法(2003.5)**が制定された。同年7月には内閣府に食品安全委員会が設置され、これによりわが国の食品安全行政は一大転機を迎えることになる。そこでは消費者の健康保護が最優先され、リスク評価とリスク管理の担当部署を明確に分離した「リスク分析」の手法が初めて採用されることになった。

わが国の食品安全施策の基本構図

段階・領域	主要な施策の例	根拠法
1. 農林水産物の生産段階	<ul style="list-style-type: none"> 農薬の販売と使用の規則 動物医薬品の製造・使用の規制 人畜共通伝染病の予防 飼料の製造、使用の規制 	<ul style="list-style-type: none"> 農薬取締法 薬事法 家畜伝染病予防法 飼料安全法
2. 食品製造、流通段階	<ul style="list-style-type: none"> 食品や添加物の規格、基準の設定 検疫所による輸入食品の監視指導と畜検査および食鳥検査 食品営業の許可、監視指導 	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生法 食品衛生法 及び畜法、食鳥処理法 食品衛生法
3. 食品表示と関連施策	<ul style="list-style-type: none"> 表示基準の設定と監視指導 	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生法、JAS法、不正競争防止法、景品表示法

☆ 参考資料 嘉田良平著 「食品の安全性を考える」 (財)放送大学教育振興会

(古津)

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介 **住化農業資材(株)**

好評！小畝管理向け新チューブ スミサンスイ ミニA

昨年、新発売した「スミサンスイ ミニA」が全国でジワリジワリと伸長中です！

「高性能」「低コスト」双方の実現を開発のコンセプトとした中、弊社の汎用チューブでは、初めて6孔ワンパターンを採用、自慢の均一散水性能をより高めました。また価格面でも弊社の定番製品と同じ肉厚でありながら、戦略的に低価格に位置づけております。

散水面では、弊社自信の細かな水粒が優しく「～2.5m」を均一に灌水します。用途は、主に葉物類、各種育苗、切り花など小畝ごとの灌水管理にとっても便利であり、また、チューブを裏返してのご使用により、マルチ下への灌水にも流用できます。仕様は以下の通りです。

製品仕様 : スミサンスイ ミニA 200m巻 1ケース/5巻入り
 : 散水幅 ～ 2.5m
 : 折径 42mm 相当径 22mm
 : 6孔ワンパターン 3cmピッチ
 : 灌水量 0.39L/分・m 0.04MPa時
 : 長尺均一性 60m
 : 黒色特殊ポリエチレン製
入口継手 : ミスト20ニップル (バンド22で締め付け)
中間継手 : ミスト20ストレートジョイント(バンド22で締め付け)
末端止め : ワンタッチストッパー
メッシュろ過資材(入口継手に装着)
 : チューブフィルターMA 黄糸 (100メッシュ相当)

注) 入口継手に、ワンタッチニップル20はご使用になれませんので、ご注意ください。



スミサンスイミニA散水場面

上記のように、「高性能」「低コスト」を併せもつ「スミサンスイ ミニA」をひとりでも多くの生産者様に実際にご使用・ご体感いただき、皆様の秀品づくりのお役に立てれば誠に幸いです。

[目次へ戻る](#)

野菜の病害虫防除・お役立ち情報⑩

だいこん病害虫の適正防除で秀品率を高めよう!

前回の総合的防除技術を踏まえ、だいこん播種後の病原菌の増殖・感染と病害類の体系（同時）防除について述べ、参考に供したいと思います。

1. ダイコンの生育時期と病原菌の増殖・感染について

播種⇒(病原菌：根圏・葉圏土壌増殖・感染・発病)⇒生育初期⇒(菌増殖・感染・発病)⇒生育中期⇒(発病・感染・菌増殖)⇒生育後期⇒(感染・発病進展)⇒収穫期⇒(病株残渣)⇒伝染源（次作）

2. ダイコンの生育時期と体系（同時）防除について

病害菌類の増殖・侵入感染・発病は、だいこんの生育時期と気象条件とが密接に関連します。だいこんの生育初期から中期にかけては、根圏や葉圏土壌で病害菌類の密度が増加する時期であると同時に侵入好適時期に相当し、発育条件が満たされれば病気が発生してくることから、これら時期からの体系（同時）防除が重要となります。

播種時期によって病害類の発生相は異なりますが、秋まき栽培（生育期間70日想定）を対象とした病害類の体系（同時）防除例を示すと次のとおりです。

防除時期	対象病害類	防除薬剤	留意事項
播種時	モザイク病	ダントツ粒剤を施用し、媒介アブラムシ類の発生を防止する	・農薬散布に当たっては安全使用基準を必ず守りましょう
播種10日後 (生育初期)	軟腐病、黒腐病、亀裂褐変症、黒斑細菌病	軟腐病、黒斑細菌病にはカセット水和剤、軟腐病、黒腐病、黒斑細菌病にはZボルドー水和剤、亀裂褐変症にはバリダシン粉剤DLなどを散布する	・葉や根の傷口は病菌類の侵入を助けるので害虫を防除し被害痕を作らない
播種20日後 (生育初～中期)	軟腐病、黒腐病、亀裂褐変症、黒斑細菌病、べと病	軟腐病、黒腐病、黒斑細菌病、べと病にはZボルドー水和剤、亀裂褐変症にはバシタック粉剤などを散布する	・病害類の好適発生条件下では予防散布を行う
播種30日後 (生育中期)	黒腐病、黒斑細菌病、黒斑病、べと病、亀裂褐変症、白さび病	黒腐病、黒斑細菌病、べと病にはZボルドー水和剤、亀裂褐変症にはバリダシン粉剤DL、黒斑病、べと病には4-4式ボルドー液、白さび病にはアミスター20フロアブルなどを散布する	・多発生が予想される場合は散布間隔を短縮して防除する
播種40日後 (生育後期)	黒腐病、黒斑細菌病、黒斑病、べと病、白さび病	黒斑細菌病、白さび病にはヨネポン水和剤、黒斑病、べと病には4-4式ボルドー液、黒腐病にはコサイドボルドーなどを散布する	・薬剤散布は茎葉、地際部にも十分かかるよう行う
播種50日後 (生育後期)	黒斑細菌病、黒腐病、白さび病、黒斑病	黒斑細菌病、黒腐病にはZボルドー水和剤、白さび病にはランマンフロアブル、黒斑病には4-4式ボルドー液などを散布する	・銅剤散布では炭酸カルシウム(クレフノン)を必ず加用する
播種60日後 (生育後期)	白さび病、黒斑細菌病、黒斑病、	白さび病、黒斑細菌病にはヨネポン水和剤、黒斑病には4-4式ボルドー液などを散布する	

(技術顧問：村上)

[目次へ戻る](#)



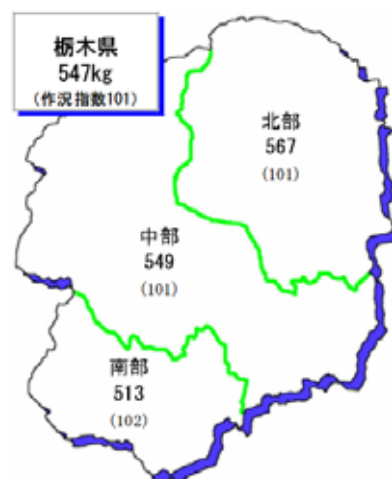
楽一® 現地試験事例の紹介

1. はじめに

楽一は世界初の倒伏軽減剤入り究極の基肥一発肥料です。これまでの基肥一発肥料とは違い、倒伏しやすい「コシヒカリ」等の長稈性良食味品種において幼穂形成期の肥効を高め、安定収量・品質向上を目指した革新的な基肥一発肥料です。先月号では、楽一の特長・銘柄等について紹介させて頂きました。今月号は、昨年の代表試験事例として栃木県の現地圃場で行なった慣行栽培と楽一の比較試験結果について御紹介させて頂きます。楽一の特長等を知る上でも御参考になるかと思しますので、本年の水稻栽培に是非お役立て頂きたいと思します。

2. 昨年の気象条件と作況指数（栃木県）

昨年は5月中旬頃、低温・寡照で推移したことから、活着はやや悪く、6月中旬以降の気温は概ね平年を上回ったことから、出穂期は平年よりも2日早まりました。8月中旬～下旬にかけては、気温、日照時間が平年を下回ったことや継続的な降雨の影響から登熟はやや不良となりました。昨年は風水害等の被害は多かったものの、いもち病等の被害は少なく、10a当たりの収量は547Kg（作況指数101）となりました。

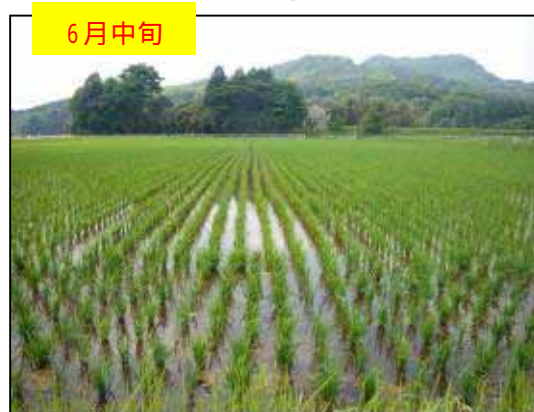


3. 試験方法

試験圃場の耕種概要等は次の通りでした。

- 1) 試験地：栃木県宇都宮市
- 2) 試験面積：40a
- 3) 前作：水稻
- 4) 代かき日：5月14日
- 5) 田植え日：5月16日
- 6) 出穂日：8月3日頃
- 7) 品種：コシヒカリ
- 8) 栽植密度：15.2株/m²
- 9) 試験区構成：

- ・楽一区：楽一20S（側条施肥、20-11-11）、窒素成分量：約6Kg/10a
- ・慣行区：他社一発肥料（側条施肥、20-18-16）、窒素成分量：約6Kg/10a



4. 水稻の生育状況

田植え後32日（6月中旬）

5月中旬は、やや低温・寡照で推移し、活着が悪い地域もありましたが、楽一区の初期生育は良好でした。草丈、茎数は慣行栽培とほぼ同等でしたが、楽一区では「基肥・分げつ肥」の肥効により、初期の葉色は慣行区よりもやや濃くなる傾向でした。



田植え後 53 日（7月上旬）

7月上旬・中旬は晴れの日が続き、高温・多照で推移したことから、地力窒素の発現量が多く、平年よりも草丈が長くなる傾向がありました。幼穂形成期は、有効茎数が決定し、一穂粒数を確保する上でとても重要な時期です。その一方で、この時期は下位節間が伸長する時期でもあるため、慣行施肥では倒伏を避ける為に窒素肥料を十分に効かせることができません。楽一では節間伸長の伸長を抑制しながら倒伏を軽減し、幼穂形成期の肥効を高めて一穂粒数を安定して確保できるよう設計されています。7月上旬の調査では、楽一区の草丈は明らかに短く、茎数は多く、葉色は濃くなっていました。写真2は、その時の様子を撮影したものです。試験区の境界線で草丈の段差がついていました。このように、楽一区では幼穂形成期の稲姿に明らかな違いがみられました。



写真1．楽一試験水田

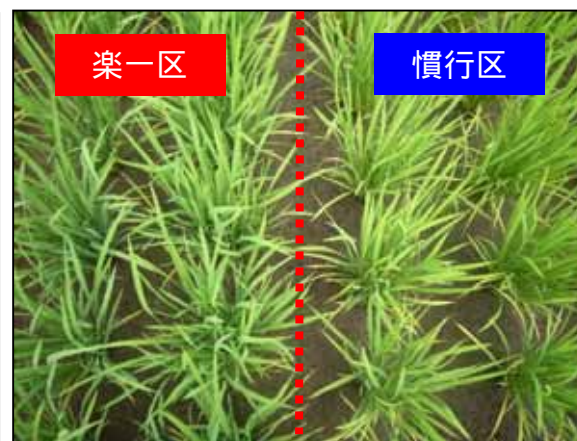


写真2．試験区の境界線

田植え後 84 日（8月上旬）

7月上旬・中旬は晴れの日が続き、出穂日は平年よりもやや早まりました。8月上旬では7月と同様、草丈は短く（写真3）、穂数は多くなっていました。但し、葉色は慣行の方が若干濃くなっており、7月下旬以降、葉色の濃さが逆転しました。すなわち、慣行区では下位節間が伸長した後の葉色が濃く、肥効パターンの違いが確認できました。



写真3．楽一区と慣行区の比較



田植え後 117 日（調査日：9 月上旬）

8月の継続的な降雨・寡照の影響から、倒伏する水田もみられましたが、**楽一区の稈長は明らかに短くなり、倒伏は生じておりませんでした**（写真5）。慣行区の稲株の節間長と比較してみると、すべての節間が短縮されており、特に下位節間の短縮効果が強く現れとても倒伏に強い稲姿になっていました。



写真5．楽一試験水田



写真6．稲株の比較

収量および品質

9月上旬に刈り取った10株の収量と品質を調査しました。楽一区では、慣行区に比べて穂数が多く、一穂粒数も多く確保できたので、 m^2 当たりの粒数は約3割多くなりました。また、千粒重もやや大きく、精玄米収量は約1割多くなりました（表1）。楽一区では初期～幼穂形成期の肥効により、適正な穂数・一穂粒数が確保できたこと、また生育後半の肥効により登熟後半まで葉色の低下が少なく推移したことから千粒重がやや大きくなり、**収量の増加につながったものと推察されます**。品質の面では、**玄米中のタンパク含有率も慣行区よりもやや低くなり、食味も良好でした**。このように、昨年の栃木県の現地試験では、地域の慣行栽培と比較して、楽一特有の肥効パターンに伴う稲姿の違いや倒伏軽減・安定増収・品質向上の効果などを確認することができました。

試験に御協力を頂いた農家様のお話では、「今年はまわりの圃場では倒伏しているところもあったが、楽一では倒伏せずに安定した生育経過であった。実際に刈り取った結果では、慣行区に比べて楽一区では屑米が少なく、収量は多かった」とのことでした。

表1．収量・食味調査結果（概要）

試験区	穂数 (本/ m^2)	1穂粒数 (粒)	粒数 (粒/ m^2)	千粒重 (g)	精玄米収量 (kg/10a)	タンパク (%)
楽一区	421	75	31,575	24.0	550	6.5
慣行区	361	64	23,104	23.8	489	6.6
慣行区対比(%)	117	117	137	101	112	98

穂数、1穂粒数と千粒重、精玄米収量のデータは各々別の調査株を測定した結果である。

千粒重、精玄米収量、玄米中のタンパク含有率は含水率15%に換算表示した。

精玄米は粒厚1.8mm以上とした。

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

水稲の病虫害防除の最初は種子消毒！

水稲栽培での病虫害防除の最初は健全な種籾を使用することです。水稲は出穂後も種々の病虫害の被害を受けています。

これらの病害を引き起こす菌や細菌は籾の登熟とともに籾の中に潜み保菌籾となります。このような保菌籾を採取し、次の年に播種すると、潜んでいた病原菌が活動を開始し、育苗の段階から発病します。発病程度が強くなると、苗が立ち枯れ状態となり、全滅する場合もあります。

また、育苗段階では目立たなくても、本田に移植した後、発病してくる病害もあります。これらの病害には①細菌が病原となる「もみ枯細菌病」、「苗立枯細菌病」、「褐条病」等と、②カビの仲間の糸状菌が病原となる「苗立枯病」、「ばか苗病」、「いもち病」等があります。

しかし、このような細菌や糸状菌だけでなく、線虫の仲間の「**イネシンガレセンチュウ**」が種籾に潜んでいる場合があります。この「イネシンガレセンチュウ」は乾燥した虫体が糸屑のような状態で籾殻の内面に付着して越冬します。この乾燥虫体は種籾の催芽時に水分を吸収して、体長 **0.7mm** 程の成虫になり、籾の生長点に集まります。ところが、この線虫は実に曲者で、育苗段階では何の症状も現れません。移植後、籾では盛んに新しい葉が生長点で作られますが、この生長点に口針を差し込んで吸汁します。このため新しく生長してくる葉が加害され、葉先から下方に向かって黄白色となります。この症状は真中から出てくる新しい葉が枯れたようになるので「心枯れ症状」と呼ばれます。この症状がでると、草丈が抑えられ、分げつが異常に促進され、穂を着けない無効分げつが増加し、収量が **50%** 以上も減る場合があります。

さらに、「イネシンガレセンチュウ」の被害は生育期だけでなく、出穂後も続きます。生長点に潜む「イネシンガレセンチュウ」は出穂にともない籾の内部で増殖し、ある種の細菌が籾に入ると「黒点米」を発生させます。この「黒点米」が発生すると、収量減だけでなく、米の品質等級が著しく低下し、被害が拡大します。

この「イネシンガレセンチュウ」の防除にはスミチオン乳剤、パダン SG 水溶剤及びベンレート水和剤をお奨めします。スミチオン乳剤は播種前の浸漬処理、吹付処理、塗沫処理及び育苗箱での散布処理ができます。パダン SG 水溶剤は浸種前の浸漬処理です。ベンレート水和剤は本来殺菌剤で粉衣処理や浸漬処理で「ばか苗病」、「いもち病」に効果あるだけでなく、「イネシンガレセンチュウ」に対する効果も確認されています。

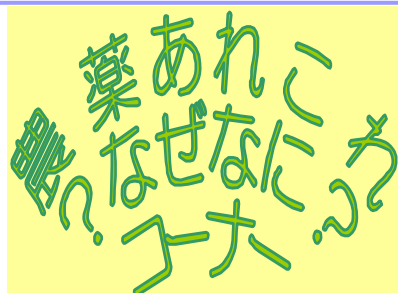
種子伝染性の病虫害を防ぐには、管理が行き届いた採種圃で採取された無保菌の種籾を使用するのが原則ですが、病虫害で汚染されている可能性が無いとは言えず、是非、適切な種籾消毒を行い、健全な苗を育成してください。



スミチオン乳剤

(山脇)

[目次へ戻る](#)



農薬を使い切るその時に！ (農薬空容器の洗浄について)

ご質問

家庭菜園で野菜を育てています。先日、殺虫剤を使ったところ、ちょうど使い切ったので、空になった容器を洗って捨てたいと思います。容器は庭の水道で洗おうと思っていますが、ラベルをよく見ると、「散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さない」とあります。庭の水道で洗ってしまうと実際、その水は下水に流れてしまいますが、ちゃんと処理されるでしょうかから大丈夫ですよね？

質問ポイント

**空になった農薬容器の処分方法は？
(家庭園芸の場合)**

お答え

空になった農薬容器や散布器具の洗浄液は、河川や用水路などはもちろん、下水にも絶対に流さないで下さい。環境を守るためのルールですので、厳守をお願いします。では、容器や散布器具の洗浄液はどうしたらよいのでしょうか。

回答ポイント

- ・ 水洗いすると、一般ごみとして処分できます。
- ・ 洗浄液は、決して河川や下水道に流さないで下さい。

◆農薬容器の洗浄

農薬を使い切る時に、その容器も洗浄し、その洗浄液は散布液の一部として散布してしましましょう（そうすれば一石二鳥です）。方法は以下のとおり・

例)：1000倍に薄めて使用する農薬が容器に5mL残っている場合。

- ① 散布用の容器に残り5mLの農薬を入れる。
- ② 空容器に水（容器の1/4程度）を入れ、よく振って洗浄し、洗浄液を散布用の容器に入れる。この手順を、3回繰り返す。 **ここで容器の洗浄ができてしまう！**
- ③ 散布用の容器に水を加え、5Lに調製する。

今回のご相談のように、既に空になっている場合は、上記②のように洗浄し、洗浄液は畑の土（作物の植わっていない部分）に染み込ませてください。

家庭園芸の場合、洗った後の空容器は、通常の一般ごみの扱いになります。

◆散布用器具の洗浄

散布器具の洗浄水は、農薬の濃度が散布液の1/1000程度になります。農薬を散布した植物の根元付近に、灌水（水やり）として注げば良いと思われまます。元々登録のある作物で、規定よりはるかに薄い濃度ですから、散布液自体が土にも落ちることを考えると、問題無いと思われまます。土に吸収された農薬は、土壤微生物の働きなどで分解されていきます。

なお、「水やり」といっても、農薬散布後の作物の上からかけてしまうと、作物に付いた農薬が流れてしまいますので、ご注意ください。また、いくら薄いからといって、洗浄液を登録のない作物に灌水したり、排水路に流したりしないよう気をつけてください。

(佐伯・南)

[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

きゅうり／黄化病と

退緑黄化病(仮称)の防除剤は？

Q 1. きゅうり黄化病と類似した、新しいウイルス病「退緑黄化病(仮称)」が全国に拡大しているようですが、どんな症状ですか？

A 1. **きゅうり黄化病**は「オンシツコナジラミ」が媒介するウイルス病です。発病の初期は葉脈間に黄緑色の無数の小斑点が発生し、後に葉脈を残して黄化します。さらに症状が激しくなると、側枝の発生や伸張が抑制され減収します。

きゅうり退緑黄化病(仮称)は、昨年2月以降九州地方7県(沖縄県を除く)、埼玉、群馬、愛媛、栃木の各県で発生が確認された、新しいウイルス病です。病徴はきゅうり黄化病と極めて酷似していて、症状では見分けが困難なウイルス病です。このウイルス病は、タバココナジラミ(バイオタイプQおよびB)が媒介しますが、特に**タバココナジラミ(バイオタイプQ)**は、一部の薬剤に対して感受性が低下していることから、各地で問題になっています。



ベストガード水溶剤

Q 2. きゅうり黄化病と退緑黄化病(仮称)を同時に防除出来る薬剤を教えてください。

A 2. きゅうり黄化病および退緑黄化病(仮称)は、ウイルス病のため有効な農薬が無いので、**防除方法**としては伝染を遮断するしかありません。具体的には、発病株の除去と、オンシツコナジラミとタバココナジラミ(バイオタイプQおよびB)両種に有効な薬剤による徹底防除です。弊社の薬剤では、ネオニコチノイド系の**ベストガード粒剤**、**水溶剤**や新規微生物殺虫剤**ゴッツA**による防除が効果的です。特に定植直後の感染は、大きな被害につながるのので「定植時」の対策がポイントになります。



ベストガード粒剤

使用方法は以下の通りです。

<ネオニコチノイド系殺虫剤>

ベストガード粒剤(1g/株、育苗期/株元処理)

〃 (1~2g/株、定植時/植穴処理土壌混和)

ベストガード水溶剤(1000~2000倍、散布)

<微生物殺虫剤>

ゴッツA(500~1000倍、散布、施設栽培に限定)

使用上の注意！

- ① 薬剤抵抗性の発生を避けるため、同一系統の薬剤の連用は避け、異なる系統の薬剤をローテーション散布して下さい。
- ② ベストガード粒剤、ベストガード水溶剤は、マルハナバチ、ミツバチに影響がありますので、ラベルの表示を確認して正しくご使用下さい。



ゴッツA

(小川)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

適用拡大 2月18日、3月4日の主な適用拡大内容です

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか		
殺虫剤	アディオン乳剤	作物追加	しゅんぎく	アブラムシ類	4000倍	収穫21日前まで 2回以内 散布	
			さといも (葉柄)	ハスモンヨトウ	2000倍	収穫7日前まで 2回以内 散布	
				アブラムシ類	3000倍		
	スミチオン乳剤	作物分離 小麦を追加し 麦類を右記 のように分離 します。 小麦のみ アブラムシ類 の250倍散布 が設定されま す	麦類 (小麦を 除く)	アブラムシ類 アワヨトウ ムギキモグリバエ	1000倍	収穫7日前まで 1回 散布	
				ムギアカタマバエ ヒメビウンカ	30倍 3~4 L/10a	収穫7日前まで 1回 空中散布	
				ヒメビウンカ	8倍	収穫7日前まで 1回 無人ヘリコプター による散布	
				アブラムシ類	800 mL/10a		
			小麦	アブラムシ類	250倍 25L/10a	1000倍	収穫7日前まで 1回 散布(1)
				アワヨトウ ムギキモグリバエ			
			ムギアカタマバエ ヒメビウンカ	30倍 3~4 L/10a	収穫7日前まで 1回 空中散布		
			ヒメビウンカ	8倍	800 mL/10a	収穫7日前まで 1回 無人ヘリコプター による散布	
			アブラムシ類				
			ダントツ水溶剤	害虫追加	えだまめ	フタスジヒメハムシ	2000~4000倍 100~300 L/10a
	茶	マダラカサハラハムシ			2000倍 200~400 L/10a	摘採7日前まで 1回 散布	
	すもも	カメムシ類			2000~4000倍 200~700 L/10a	収穫3日前まで 3回以内 散布	
	うめ	ケシキスイ類			2000倍 200~700 L/10a	収穫3日前まで 3回以内 散布	
	ダントツ粒剤	害虫追加	作物追加	かぼちゃ	アブラムシ類	2g/株	定植時 1回 植穴処理土壌混和
			稲 (箱育苗)	イネヒメハモグリバエ	使い方は既存の稲(箱育苗)に準じる		
使用方法変更		害虫追加	キャベツ	ネギアザミウマ	0.5g/株	育苗期後半 他各種いずれかの 処理で1回 株元処理	
		は種時の使用方法変更 覆土後セル成型育苗トレイの上から散布 覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布					

殺虫剤	ダントツ粒剤	使用時期 使用方法 追加	ブロッコリー	ハイマダラノメイガ	0.5g/株	育苗期後半 他各種いずれかの 処理で1回 株元処理	
					2g/株	定植時 他各種いずれかの 処理で1回 植穴処理土壌混和	
		使用方法変更	は種時の使用方法変更 覆土後セル成型育苗トレイの上から散布 覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布				
		使用時期 使用方法 追加	きゅうり メロン トマト ミニトマト なす	アブラムシ類	1g/株	定植後 但し、 収穫前日まで 3回以内 株元散布	
							使用量変更
		使用時期変更	かんしょ	コガネムシ類	6kg/10a	植付前~植付時 他各種いずれかの 処理で1回 作条処理土壌混和	
殺虫殺菌剤	ブラシダントツフロアブル	希釈倍数追加	稲	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	300倍 25L/10a	収穫21日前まで 2回以内 散布(2)	

1 本剤を希釈倍数250倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の地上液剤散布装置を使用すること。

2 稲に300倍希釈で使用の場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用すること。

(南・佐伯)

[目次へ戻る](#)

アンケート当選者発表

アンケートにお答え戴いた i-農力会員の皆様、大変ありがとうございました。

お寄せいただいたご意見を反映し、本誌を充実させていきますので、どうぞご期待ください。

また、厳正な抽選の結果、以下の方が当選されましたので発表します。おめでとうございます。

「りんご」当選の皆様 (会員番号)

AH0073、AH0211、AH0340、AH0364、N101118、NA0394、NA0479、NA0501、NA0586、NA0808、NA0911、NA0958、NA0959、NA0980、NA0983、NA1314、NA1380、NA1382、NA1601、NA1618、NA1698、NA1831、NA1877、NA2011、NA2022、NA2036、NA2093、NA2151、NA2260、NA2270
(以上、30名様)

「デコポン」当選の皆様 (会員番号)

AH0041、AH0543、AH0557、NA0045、NA0127、NA0323、NA0385、NA0463、NA0466、NA0574、NA0596、NA0927、NA0997、NA1165、NA1186、NA1270、NA1415、NA1454、NA1620、NA1666、NA1668、NA1714、NA1716、NA1747、NA1986、NA2037、NA2046、NA2094、NA2118、NA2224
(以上、30名様)



抽選風景

[目次へ戻る](#)

病害虫発生情報

2月25日～3月2日

愛知県

*3月2日 特殊報/かき/ヤサイゾウムシ

当社登録剤：該当なし

詳細は：<http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/yosatu2008.html>**佐賀県**

*2月27日 注意報/いちご/ハダニ類

当社登録剤：粘着くん液剤、ロディーくん煙顆粒、ロディー乳剤、オサダンフロアブル、オサダン水和剤25

詳細は：<http://www.pref.saga.lg.jp/web/bouju>

イチゴ：ハダニの被害が進んだ状態

大分県

*3月2日 注意報/白ねぎ/べと病

当社登録剤：ダコニール1000（ねぎ）、ボルドー水和剤（野菜類）

詳細は：<http://www.jppn.ne.jp/oita/>**宮崎県**

*2月25日 注意報/茶/カンザワハダニ

当社登録剤：粘着くん液剤、ビルク水和剤、オサダンフロアブル、オサダン水和剤25

詳細は：<http://www.jppn.ne.jp/miyazaki/>

ねぎ：べと病の被害

沖縄県

*3月2日 注意報/キャベツ/コナガ

当社登録剤：アグロスリン水和剤、アディオオン乳剤、ダントツ水溶剤、ダントツ粒剤、ハクサップ水和剤、パダンSG水溶剤、プレオフロアブル、ベジホン乳剤、エスマルクDF・フローバックDF・クオークフロアブル・ゼンターリ顆粒水和剤（野菜類・コナガ）

*3月2日 特殊報/きゅうり/キュウリ黄化えそ病（ミナミキイロアザミウマが媒介）

当社登録剤：アグロスリン水和剤・乳剤、ダントツ水溶剤・粒剤、ベストガード水溶剤・粒剤、バッサ乳剤

*3月2日 特殊報/ピーマン/チャノキイロアザミウマ

当社登録剤：該当なし

詳細は：<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

(柳原)

[目次へ戻る](#)

最近の「お・・美味しい！」

近づけ！プロの味に！

弊社相談室から佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい！」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、
毎月「これぞ！」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪

何ヶ月かに一度、通う場所があります。それは美容院です。そして美容院が済むと必ず立ち寄る喫茶店があります。ビルの2階に美容院、1階にこの喫茶店があるので、毎度お馴染みコースになっているといった感じです。

このお店は、コーヒーや紅茶、手作りケーキ、パスタにいたるまですべて絶品なので、



ホタテとパプリカの和風パスタ
(醤油を使っていないので色がキレイ)

いつもお客が絶えません。私のお目当ては、ここのパスタランチです。中でも特に「和風」味のパスタがお気に入り。ここのランチメニューは、いくつか種類があるのですが、私は決まって「和風」のを頼みます。たかが醤油味の和風パスタ・・とあなどるなかれ。このお店のは他には無い味付けで、一度食べた時から虜になったほど。美容院へは、それこそ何ヶ月に一度しか通わないので、おのずと、ここで和風パスタを食べられるのも何ヶ月に一度となります。そこで、私は、何とか自宅でこの味を再現できないものか・・と思い、食べるたびに、真剣に「味

分析」を行います。「このコクは何の調味料で出してるのかしら・・ひょっとして味噌・・?でも、お皿に味噌らしき形状は無いし・・。」とこんな具合。一度、自宅に帰って、「たぶん、こんな感じでしょ！」と思って作ってみましたが、似て非なるものが出来上がったこともしばしば(←不味くは無いのだが、ここの味ではない)・・。

そこで、先日、支払をする時を見計らって、お店の人に思い切って聞いてみました。「ここの和風パスタを自宅で作る時のコツは？」そうしたら、お店の人、迷惑がるわけでもなく、親切にも「あれをね、こうして、ああして」と詳しく教えてくれました。「おっとそれは企業秘密なのでは!？」と逆にこちらが心配してしまいましたが(笑)。

中に入っている調味料は、私の予想に反したものでした。味噌は入っておらず・・更に驚くことに醤油も入っていないとのこと。「ええ!?私の味覚って一体・・?」と愕然としながらも自宅に無い調味料を買いそろえ、いざ自宅で調理!!詳しく教えてくれたといっても、「ざっと」だったので、作り手順は私の想像です(これぞ理科実験)。できた!ちょっと味見・・これがねえ、美味いわけですよ。「うおお。あの味っぽい?」とちょっと感動を覚えるくらい。なるほどねえ。こうなっていたわけね。と感心しつつ食卓へ。すこしだけ塩が足りなかったみたいですが、それ以外は上出来。いや~聞いてみるもんですねえ(笑)。



まずはナスと海老でアレンジ!
(笑っちゃうほど美味しい!)

今回は、お店で食べたのと同じ具を入れてみました。次は違う具でも良いだろうし、パスタじゃなくて炒め物でもいけるんじゃないかと勝手に夢は膨らみます。そして、自宅でこの味が出せるようになれば、あの店の違う味のパスタも食べられる・・!と、密かに美容院に次の予約を入れるのを今から楽しみにしている私なのでした。(佐伯)

おまけ・先月号の「カフェ風メニュー」献立はおかげさまで、まだ続いております。

本気で気に入ったみたいです(笑) 二つ目の写真参照

[目次へ戻る](#)

コラム・そば談義 51

よせばいいのに懲りもせず、東京・九段生涯学習会館まで「江戸ソバリエ・ルシック認定講座」上級者コースに通っている。

ところで、ルシックとは「怪物」という意味だそう。この講座の主旨を読むと、“江戸ソバリエ認定会員から高度な専門的知識を持った人材を発掘する”とあるが、本当は江戸ソバリエ・基礎コースの認定会員からもう一つ上のランクの講座を開いて欲しいという声に対応したようだ。要するに、私を含め人と比べて少し鼻を高くしたいという人が多いということである。そんなことより当面の関心ごとは、1kgのソバを制限時間内に打つ実技試験があることだ。清く正しくではないが、審査方法に、「二八そばを40分以内に礼儀正しく綺麗に打つこと」と明記されている。この制限時間が曲者で、相当の腕がないと打ち上げることは困難である。それは今までの経験から十分理解出来るし、現状出来そうもない。ご親切にも救済措置があり不合格者は再チャレンジ可能だが、一発で合格したいと思うのは皆同じであろう。

さて、耳学という講座が終了したが、その多彩な講師陣を一部紹介すると、「蕎麦の自給学」筑波大の林先生、「蕎麦打ちの哲学」東北学院大の石川先生、「蕎麦の医学」立川中央病院の田中院長、「江戸料理の粋学」江戸前料理「なべ家」の福田店主などである（他4名）。特に印象深かったのは、なべ家の店主福田さんである。時折冗談を交えてボソボソと喋られるので聞き取りにくいのだが、さすがに厳しい修行を積んでこられただけあって話には実感があり、また味があった。話は変わるが、「粋な蕎麦喰いコンクール」も企画されているそう。昔から江戸そばは「作り方」に定法があるように、「食べ方」にも定法があるそう。その「食べ方」を粋にこなせているか審査しようというのである。古典落語で蕎麦を食べる仕様に、扇子を箸代わりに左手に蕎麦猪口をもって「ズーズー」と音を立てて旨そうに啜る芸があるが、蕎麦屋では、音をたてて啜ることが客としての礼儀だそうで、音をたてずに食べると蕎麦屋に失礼になるそう。《パスタみたいに音もなく食べると想像しただけでゾーとするが・・・》蕎麦を啜る音と味覚との関係は、「解体新書(NHK)」という番組で放送されていた。そばを啜る音は知覚(香り)を作用し、そのことが味覚を決定づけるようになるそう。そんなことから江戸そばを「美しく、粋に食べる」定法の復活、すなわち「食育」にもつながると委員会は考えている。

さて、私はうどんでは有名な讃岐の産のため「蕎麦を美しく粋に食べる」と言われても、イメージが湧かない。うどんを啜るのは子供時代から慣れているが、蕎麦打ちの*実技試験とともに、この粋に食べる蕎麦喰いコンクールも何だか少し不安である・・・(古津)

*結果についてはいつか本誌で報告をしたいと思う。

編集後記

3月になって暖かいのか都心で雨の日が多い。春先のこの時期は、例年なら太平洋側に雪が降ることが多い。大学受験の朝は電車がよく遅れ、時間をずらして受験している様子がよく報道されていた。

今年は、桜の花も早く咲きそうである。房総よりも都心の方が早く咲くというのも普通になってきた。米国発リーマンショック後、不景気風が吹き荒れているが、もうすぐ咲く美しい桜を眺めてひと時浮世を忘れてみたいものである。



イラスト：加藤

[目次へ戻る](#)